

2学年対象第2・3回かながわP-TECH 広報資料

令和6年9月4日、10月17日に2学年対象の第2・3回「かながわP-TECH」では、AIを活用して社会課題を解決するサービスやシステムの企画作成から実装においてメンタリングを実施しました。

第2回では、「AIチャレンジ」のUnit2、第3回ではUnit4の部分についてメンタリングしていただきました。



図1 AIチャレンジのフレームワーク

Unit2では、生徒たちで決定した課題を解決するにはどのようなAIが有効であるか、誰にとって有益でありたいのかなどを議論し、企画書を作成しました。その際、企業メンターに相談し、実際AIが持つ機能の特徴などを教えていただき、より実現可能に近づくような企画書にブラッシュアップしました。Unit4では、様々なAIを使用して仕組みを学び、企画を実装へとステップアップしました。その際にも、メンターに相談し、サービスやシステムをさらに具体化することができました。



協力企業  SoftBank

 IBM P-TECH